

CRISTIANA VIDEOが制作したドキュメンタリー

聖フランシスコ・ザビエル と日本の教会

原題: SAINT FRANCIS XAVIER AND THE CHURCH IN JAPAN

フランシスコ・ザビエルから永井隆博士までの
日本の教会史に関するドキュメンタリー

学校向けに2回に分けて利用可能

vimeo.com/ondemand/710381536p2

レンタル: 300円 (72時間)

購入: 1,800円

所要時間59分

vimeo.com/710381536



お問い合わせ

info@cristianavideo.com

hummingbirdmc2@gmail.com (日本語)

製作年: 2022年

聖フランシスコ・ザビエルと日本の教会

フランシスコ・ザビエルから永井隆博士までの日本の教会史に関するドキュメンタリー

1945年8月9日午前11時02分、原子力によって街が破壊されたのはこれで2回目そして最後である。今回原子爆弾が投下されたのは長崎だ。長崎は本来の目的地ではなかった。B 29は悪天候を理由に西日本の最も大きな港へと方向転換をしたのだ。しかし、どういふ訳か爆弾は町の北部に投下された。浦上と呼ばれるこの地域には最も注目すべき建物として、カトリックのサンタ・マリア教会があった。

放射線専門医の永井隆は自身の診察室の壁のおかげで一命を取り留めた。彼は自分の家があった場所に戻り、ロザリオの隣に彼の妻の遺骸を見つけた。隠れキリシタンの子孫であった妻、森山緑のおかげで彼はカトリック信者となった。

永井は自分に問いかけた。それならなぜ原爆が浦上に投下されたのか？ なぜ多くのカトリック信者が犠牲になったのか？

1945年11月23日、原爆の犠牲者を追悼するミサの中で永井は弔辞を読んだ。彼の言葉は長崎で起きた偶然と考えられていた出来事を新しい光で解釈した。「私は神とその御摂理によって浦上が選ばれ、ちょうど私たちの家の上に爆弾が投下されたのだと信じている。終戦と長崎の壊滅との間には深い関係があるのではないだろうか？ 国々が第二次世界大戦で犯したすべての罪のために捧げられる子羊として、長崎が選ばれたのではないだろうか？」

長崎のカトリック信徒の犠牲は偶然の結果ではない。さらに長崎は日本の教会の歴史にとって重要な場所である。なぜなら日本の教会は殉教者と聖人の血によって特徴付けられた歴史を持つからである。

これまでにない新しい視点で、このドキュメンタリーは、最初の宣教師であるイエズス会のフランシスコ・ザビエルから始まる4世紀のこの並外れた歴史をたどります。

所要時間：59分

レンタル：300 円 (72時間) 、購入：1,800円 :vimeo.com/710381536

学校向けに2回に分けて利用可能 :vimeo.com/ondemand/710381536p2

お問い合わせ：info@cristianavideo.com

hummingbirdmc2@gmail.com (日本語)



CRISTIANA Video s.r.l. via degli Olimpionici, 89 - 00196 - Roma

tel. 340.33.81.299 - info@cristianavideo.com

P.I./C.F. 07163591006